



2018年(平成30年) 6月25日号

主な内容

- 2~3.....名張川納涼花火大会について
- 4.....パスポートの申請・受け取り
- 5.....年金通信
- 6.....夏休み教室
- 7.....健康マイレージ
- 8.....山口蛍選手

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

最新の情報を把握して、
災害に備えた早めの準備をしてください

■ 早めの対策

- ・気象情報 ・危険箇所の把握
- ・避難場所やその道順
- ・非常持ち出し袋の確認
- ・防災マップの確認



■ 覚えておいて！市が発令する避難情報

▼避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間を要する人（高齢者、乳幼児など）とその支援者は避難を始めましょう。

▼避難勧告

避難場所へ速やかに避難行動を始めましょう。



▼避難指示（緊急）

危険が目前に迫っています。まだ避難していない人は、直ちに避難所へ避難し、避難する時間的余裕のない場合などは、生命を守る最低限の行動をしてください。

※避難勧告などの発令がなくても、危険だと感じた場合は、自らの判断で避難してください。

危険度 ↓

■ さまざまな手段で情報を発表します

- 市では避難勧告などの発令時
- ▶FMなばり (83.5MHz)
 - ▶防災ほっとメール ▶サイレン
 - ▶緊急速報メール ▶広報車の巡回
 - ▶市ホームページ
 - ▶ケーブルテレビ などお知らせ



防災ほっとメール ぜひ、登録してください



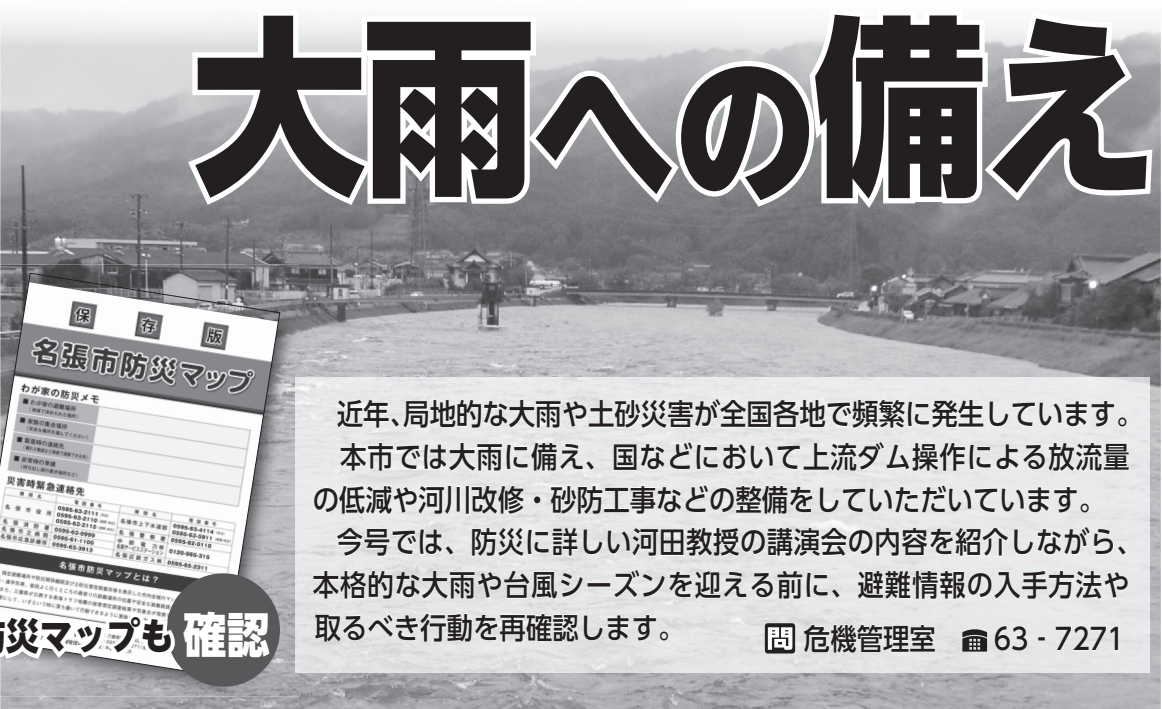
市が災害対策本部を設置した際、避難や災害情報、避難所開設状況など、携帯電話に電子メールでお知らせします。左記のQRコードから登録できます。

緊急情報・洪水情報の自動配信 登録不要

気象庁からの「緊急地震速報」や市が配信する避難情報などの緊急情報を、携帯電話各社から自動で配信します。

また、名張川・宇陀川が氾濫の恐れがある（氾濫危険水位に達した）場合には、洪水情報が自動配信されます。

本格的なシーズンを前に 大雨への備え



近年、局地的な大雨や土砂災害が全国各地で頻りに発生しています。本市では大雨に備え、国などにおいて上流ダム操作による放流量の低減や河川改修・砂防工事などの整備をいただいています。今号では、防災に詳しい河田教授の講演会の内容を紹介しながら、本格的な大雨や台風シーズンを迎える前に、避難情報の入手方法や取るべき行動を再確認します。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271



防災マップも確認

必ず起きる災害。日頃からの備えを

4年前、広島で起きた土砂災害では、1階で就寝中の人が多く亡くなりました。谷の地形で土砂災害が起こりやすい場所でした。全国で土砂災害が発生する可能性のある場所は4000カ所余りあります。自分の住んでいる土地はどんな所なのか知ること。土砂災害の恐れがある地域に住む人は2階で就寝するなど、災害の知識や昔から言い伝えられている教訓、最新の気象情報などは、自らがつかんでおくのが基本です。災害は必ず起きます。ただ、いつ起こるか分からないだけです。そして、直接自分たちの住む地域に被害がなくても、大都市での災害や南海トラフ地震など広域的な範囲で災害が発生した場合は、物流が止まり、食料などが届かなくなる「経済被害」が必ず起きることを理解して、備えてほしいのです。



関西大学社会安全研究センター長
特別任命教授・工学博士
かわた よしあき
河田 恵昭 さん

「名張市防災講演会」
最新の災害から学ぶこと」
2月11日開催

子どものたちは学校で答えがある問題を教えられます。しかし、社会に出ると答えがない問題ばかり。防災もそうです。悲しみを作らないために防災教育はとても重要です。私たちは災害多発時代の中で生きています。災害と私たちは知恵比べをしていて、災害は人間の弱いところをついてきます。ぜひ地域活動の核として日常防災に取り組んでください。

平成29年10月 台風21号の記録 本市で記録的豪雨により避難勧告を発令

- 24時間降水量が観測史上最大の315mmを記録
- 台風接近前から20カ所の自主避難所を地域づくり組織の協力のもと開設
- 名張川、宇陀川の水位上昇に対し、氾濫の恐れがあるとして河川流域の7地域6,224世帯に避難勧告を発令
- 宇陀川沿いの県道赤目滝線の一部道路が冠水
- 多くの土砂崩れ、東山墓園の一部が崩落する被害が発生



自主避難や帰宅困難者など
最大337人が市内各小学校に避難した